

リウマチ通信

Vol. 28

平成 29 年 11 月号

レントゲン検査、100 枚撮っても大丈夫！？

リウマチの検査で年 1 回各関節の X 線評価をすることをお勧めしています。

通常は手、足、胸と必要な箇所ということで数枚から十数枚の X 線検査を行っていますが、被ばくの問題は大丈夫なのでしょうか？結論からいうと全く心配いりません。例えば胸部 X 線 1 枚で 0.05mSv（ミリシーベルト：放射線被ばくの単位）です。100 枚撮っても 5mSv です。CT 検査を一度受けると 8~100mSv です。さて、放射線発癌のリスクはどの程度あるのでしょうか。例えば 10mSv の CT 検査を 1000 人が受けるとそのうち 1 人が検査により発癌するとされています。そういわれると心配になるかもしれませんが、これは 1000 人中 420 人は検査を受けなくても一生涯の中で癌になりますが、その数が 420 人から 421 人になるくらいリスクだということです。

発癌のリスクがないわけではありませんから、無駄な検査はすべきではありませんが、必要であれば無視できる程度だというわけです。

一般のひとでも太陽などからの自然放射線を年間 1mSv 程度は受けているということ、我々医療者の年間被ばく線量の限度は 50mSv（5 年間では 100mSv）であり、それが安全とされている被ばく量であることから、通常の X 線検査では癌のリスクはほぼ上がらないと考えてよいわけです。

因みに、たばこ 1 箱吸う発癌リスクは放射線被ばく 1mSv に相当するという資料もあります。リウマチの X 線検査では関節破壊が進行していないか、関節の隙間や骨びらん（虫食い像）で評価しています。大切な検査ですので、安心して検査を受けて下さい。

（ 文責 医師 大村 浩一郎 ）

マスクの効果

インフルエンザや風邪が心配な季節になりましたね。風邪やインフルエンザの予防に手洗い、マスクが重要とよく言われます。インフルエンザに関して言えばマスクは特に重要です。ウイルスはマスクの目の粗さよりもずっと小さいので、予防効果はないのではないか、という懸念もされますが、インフルエンザは飛沫感染、すなわちインフルエンザにかかった人の唾と一緒に飛び出したウイルスが直接ふりかかることで感染しますので、唾の大きさであればマスクに引っかかります。これまでも様々な施設でマスクの予防効果が示されておりますので、人混みや特に病院を受診するときにはマスクをすることを忘れないで下さい。また鼻の部分など隙間ができないようにきっちりとつけることも重要なポイントです。

(文責 医師 大村 浩一郎)

リウマチ市民公開講座を開催いたします。

私って、もしかしてリウマチ？

日時：平成30年2月18日（日）

13：00～15：30

場所：メルパルク京都 6階 C会議室

※参加無料・定員200人 要事前予約となっております

詳しくはスタッフまでお声かけください。